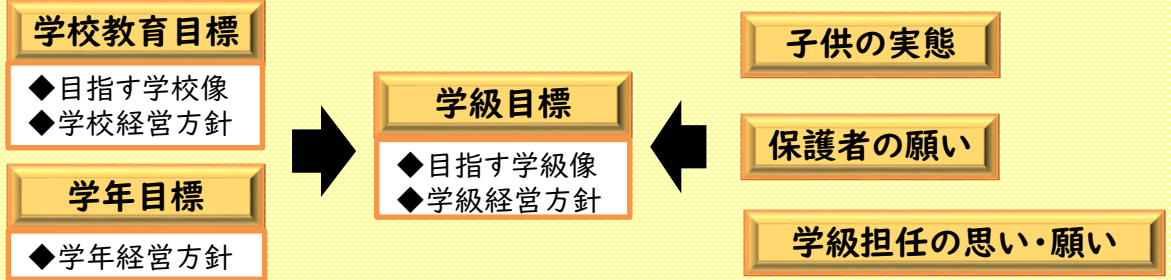


学級づくりのポイント

ポイント① 学級経営の目標を立てる(学級目標の設定)



※学校教育目標や子供の实態、担任としての思い等を参考しながら、担任としてどのような子供を育てたいのかを考えます。

学級目標は1年間を通して達成を目指す目標です。年度初めの学級会で、担任の考える目指す学級像と子供たちの学級への思いについてしっかり話し合い、「学級のシンボル・合言葉」をつくりましょう。

「学級のシンボル・合言葉」が飾り物とならないよう、達成するための手立てを子供たちと考え、実践し、日々の活動の中で振り返ることが大切です。

～学級目標を達成するための取組(例)～

○朝学活や終学活を使って、定期的に学級のシンボル・合言葉を振り返る

○大きな行事の前に、目標をもとにどう取り組むのか話し合い、行事後に取組を振り返る

ポイント② 教員と子供、子供同士の人間関係をつくる

毎日、全ての子供との一會話を心がける

- 朝、教室で出会ったとき、係の仕事に取り組む姿を見かけたとき、提出物を持ってきたとき等、子供に温かい一声をかける。(例)「〇〇さん、掃除を黙々と頑張ってたね」
- 昼休憩等に、教室内や体育館、校庭で子供たちと一緒に遊ぶ。
- 授業中の机間指導の際に、一声かける。(例)「△△さん、分からないところはないかな」

友達の気づき・発見を大切にし、共有する

- 感想や日記の中から、友達の気づきや発見等、心の動いた場面を取り上げて紹介する。
- よく発言する子供だけでなく、意図的に他の子供を指名する。
- グループワークトレーニング等を取り入れ、意図的に子供同士の人間関係づくりをする。

教員と子供の良好な人間関係がなければ、子供同士の人間関係も良好にはなりません。普段から子供とともに喜んだり悲しんだりできる教員でありたいものです。

教室の空気は、子供同士の間にある関係性です。「〇〇さんすごいなあ」「ありがとう」「どうしたの」といった声かけしながら、お互いを認め合うこと意識をしましょう。

※子供同士が安心して「絆づくり」に取り組むためには、まずは、子供が落ち着ける「居場所」を教員が提供することも大切です。



～参考～
お役立ち情報
令和3年4月号